

2026 年度 助産別科Ⅰ期 母性看護学 模範解答

問題番号	模範解答
問題1	4
問題2	3,4
問題3	4
問題4	1
問題5	5
問題6	1
問題7	1
問題8	3
問題9	3,5
問題10	3
問題11	4
問題12	3
問題13	3
問題14	2
問題15	3
問題16	2
問題17	1
問題18	3
問題19	4
問題20	1
問題21	1
問題22	2
問題23	5
問題24	1
問題25	5

問題番号	模範解答
問題26	2
問題27	3
問題28	3
問題29	3
問題30	4
問題31	3
問題32	1,2
問題33	3
問題34	1,3
問題35	4
問題36	2
問題37	5
問題38	3
問題39	3
問題40	2
問題41	2
問題42	3
問題43	1
問題44	4
問題45	3

記述式解答
問題46

本設問は、与えられたテーマに基づき、設問の意図を正しく理解し、それに沿った自身の考えを論理的に記述する問題であり、特定の正解は設けていない。採点にあたっては、以下の観点を総合的に評価する。

- ・日本社会全体での男性の育休取得率の大幅な増加について説明し、男性の育児休暇取得の実態を踏まえ、男性の育児参加を推奨している社会全体の取り組みや職場風土について、適切に述べられているか。それらを踏まえ、看護ケアの具体的取り組みなどに対して、自己の意見を論理的に述べているか。
- ・日本における子どもを生み育てる社会状況と問題点を述べることができる。
- ・日本の社会情勢（子ども家庭庁の設置やこども未来戦略方針など政府の方針があるとよい）
- ・課題は、核家族化が進んでいること、地域に交流がなく子育て期に孤立しやすいこと、共働き世帯における女性への家事・育児の負担、雇用の考え方、産後うつなど、女性の周産期における心身の状況など。
- ・女性の妊娠から子の養育における身体的精神的負担を述べることができる。